

オーロラ

世界で一番美しい自然現象と言われる天空の光、「オーロラ」。その光は、雲よりも飛行機よりも高く、地上からおおよそ100km～400kmのところにあらわれます。

そこでの空気は地上に比べ、100万分の1くらいの薄さです。限りなく宇宙空間に近い世界。オーロラが輝いているのは、宇宙と地球が出会う場所なのです。

オーロラのもと、宇宙からふりそそぐ電気を

帯びた粒子です。それが地球の周りにある磁場の影響で、高緯度地域の上空に飛び込んできます。すると、上空にある極めて薄い空気中の酸素や窒素が光るのです。

でも、電気を帯びた粒子は、一体宇宙のどこからやってきているのでしょうか。オーロラのふるさと、ともいえる場所は、一体どこにあるのでしょうか。その真相は、ぜひ当番組にて確かめください!

「オーロラ」投影期間 11月1日(金)～2014年3月30日(日)

※投影時刻はホームページまたは電話でお問い合わせください。

オリオン座の赤い星 —ベテルギウスの超新星爆発—

冬の夜空を彩るオリオン座。ギリシャ神話に登場する、勇者オリオンが輝く星座です。そのオリオンの右肩には、赤い星、ベテルギウスが輝いています。ベテルギウスは近い将来、超新星爆発という大きな爆発を起こすと考えられています。

夜空に輝く星にも一生があり、その最期には死がおとすれます。超新星爆発とは、太陽よりもずっと重い星がたどる星の最期のすがたなのです。

ベテルギウスは太陽よりもおよそ20倍も重い星で、赤く大きく膨らんでいることがわかってい

ます。さらに近年の観測技術の発展によって、ベテルギウスの表面はでこぼこしており、大量のガスが宇宙空間に噴き出す不安定な状態であることもわかってきました。

プラネタリウムでは、いまベテルギウスに何が起きているのかを詳しくご紹介します。また、超新星爆発とは一体どのような現象なのか、そのとき地球ではどのように見えるのか、星の最期のすがたに迫ります。



写真:中垣哲也

「オリオン座の赤い星」投影期間 12月6日(金)～2014年3月2日(日)

※投影時刻はホームページまたは電話でお問い合わせください。

© ESO/L. Calçada

スペシャルナイト オーロラに包まれよう ～ハーブの調べにのせて 2014年1月10日(金)・11日(土) 19:00～20:30

この冬、大阪で美しいハーブの音色とともにオーロラに包まれる一。そんな体験をしてみませんか。

オーロラ写真家・中垣 哲也氏がアラスカ・カナダなどの極北で撮影した本物のオーロラ映像を、プラネタリウムドームいっばいに投影します。オーロラに美しいハーブの響きを添えてくださるのは、ハーブ奏者の石井 理子さん。神秘とも言えるオーロラの舞とハーブの音色が共鳴し、極北の夜空体験を華やかに彩ります。

さらに、幾度となくオーロラを体験されてきた中垣氏による極北での生活や、オーロラについてのお話も必聴です。

2日間限りの特別イベント、オーロラとハーブの奇跡のコラボレーションを、ぜひお楽しみください。

※詳細はホームページをご覧ください。



中垣 哲也
(なかがき てつや)

1961年生まれ、札幌在住。2007年に放射線技師から転身、現在は極北取材、また日本全国を回り上映会や講演会、写真展などを開催。「奇跡とも言える地球の素晴らしさ」のメッセンジャーとして活動。3.11以降、日本人が失ってしまった自然への畏敬の念を感動で伝えることを目指す。



石井 理子
(いしい みちこ)

相愛高校音楽科を経て、大阪音楽大学音楽学部器楽学科ハーブ専攻卒業。現在、フリーのハーピストとして、ソロ・室内楽・オーケストラなどで演奏活動を行っている。田淵順子、海川佳代子の両氏に師事。朝日カルチャーセンター講師。日本ハーブ協会会員。

◆学芸員のおススメコレクション◆

大阪新美術館建設準備室

慈雲飲光(じうんおんこう) 不識(達磨画賛)

失礼ながら「カワイイ!」と一目ぼれ。禅宗の開祖・ダルマ(菩提達磨)は6世紀にインドから中国に渡ります。梁(りょう)の武帝との問答が意にかなわず「不識」=識(し)ラスと答えて去った後、9年間壁に向かって坐禅を組み、不撓不屈(ふとうふくつ)の権化とされました。江戸時代の高僧・慈雲は、シンプルに「不識」の二字と達磨(だるま)の坐禅像を、かすれた墨線でざっくりと一気に仕上げています。大阪の実業家・山本發次郎は慈雲の書を精力的に集め、そのコレクションは佐伯祐三の絵画などと共に、大阪市が計画する新しい美術館に寄贈されました。(大阪新美術館建設準備室主任学芸員 小川 知子)

※この作品は、大阪市立美術館で開催中の特別展「再発見!大阪の至宝」展で12月8日(日)まで展示されています。

大阪市立美術館 所在地 〒543-0063大阪市天王寺区茶臼山町1-82天王寺公園内 TEL 06-6771-4874 FAX 06-6771-4856

アクセス JR「天王寺」中央改札、地下鉄「天王寺」5号・15号・16号出口、近鉄「大阪阿部野橋」西改札、阪堺電軌上町線「天王寺駅前」

それぞれより北西へ約400m ホームページ <http://www.osaka-art-museum.jp/>

大阪新美術館建設準備室 ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000009428.html>



慈雲飲光 不識(達磨画賛) 18世紀
大阪新美術館建設準備室蔵

大阪市立博物館・美術館・動物園

大阪てくてくミュージアム

大阪市立東洋陶磁美術館／大阪市立科学館／大阪市立美術館

天王寺動物園／大阪城天守閣／大阪歴史博物館

大阪新美術館建設準備室／大阪市立自然史博物館

